

⑦定格熱出力到達（1/2）

①復水器
真空上昇

②原子炉起動

③タービン起動
発電機仮並列・本並列

④中間停止

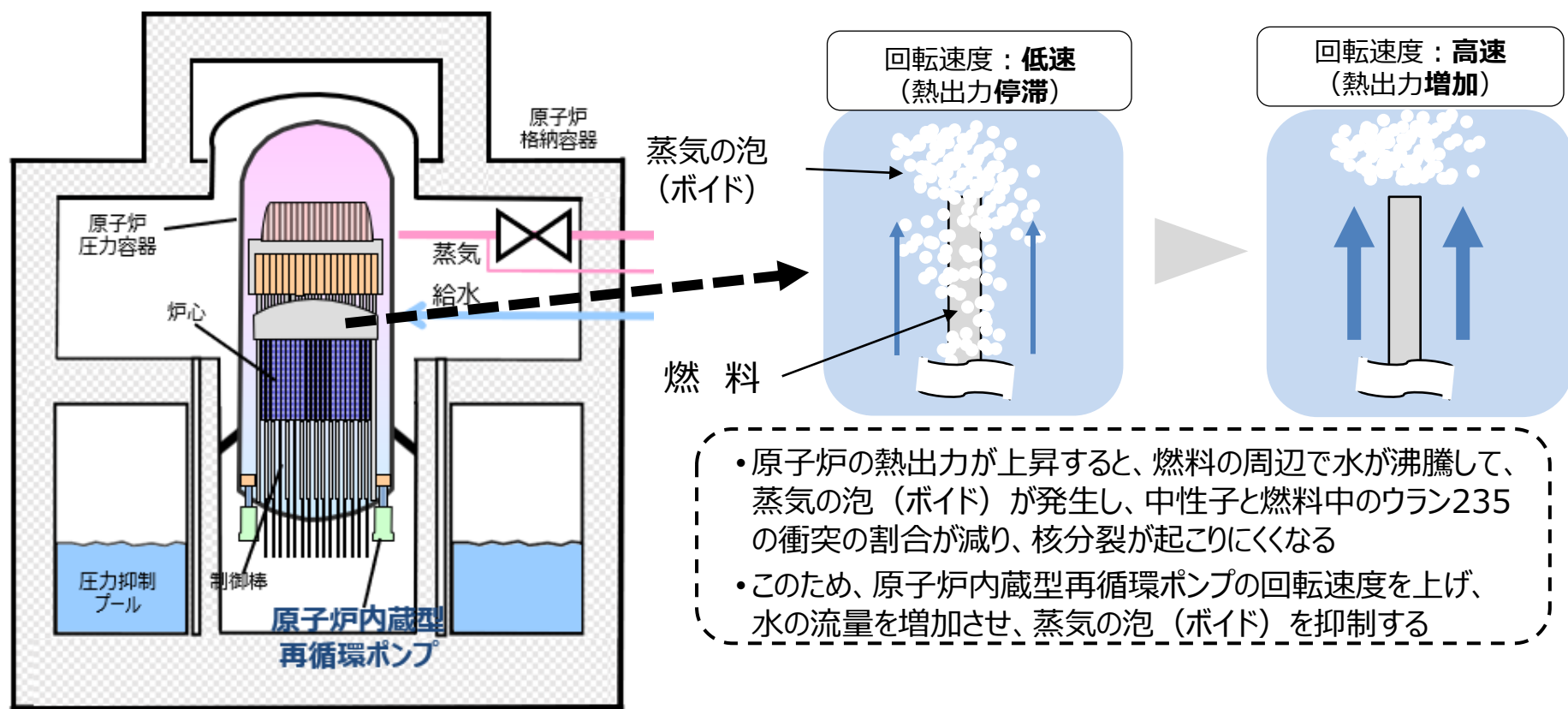
⑤原子炉起動

⑥タービン起動
発電機仮並列・本並列

⑦定格熱出力到達

- 定格まで熱出力を上昇させるため、原子炉内蔵型再循環ポンプの回転速度を上げ、**炉心を通過する水の流量を増加させ、蒸気の泡（ボイド）を抑制することにより、核分裂を起こしやすくする**
- これにより、炉心の蒸気の泡（ボイド）の量が減り、核分裂が多く起こることで、熱出力が上昇し定格熱出力392.6万kWに到達（定格熱出力一定運転※）

※発電効率向上のために、原子炉で発生する熱を調整し運転中の熱出力を一定にする運転



⑦定格熱出力到達 (2/2)

①復水器真空上昇 ②原子炉起動 ③タービン起動
発電機仮並列・本並列 ④中間停止 ⑤原子炉起動 ⑥タービン起動
発電機仮並列・本並列 ⑦定格熱出力到達

- 原子炉が定格熱出力に到達し、運転状態が安定した段階で、使用前事業者検査の最終検査として、各設備の圧力、流量などのデータを記録し、プラント全体が正常に機能していることを総合的に確認 (総合負荷性能検査)
- 本検査にあわせて、原子力規制委員会が使用前確認※を実施
※ 使用前事業者検査が適切に行われ、終了していることを原子力規制委員会が確認
- 確認の結果問題がなければ、原子力規制委員会より使用前確認証が交付され、その時点から営業運転開始となる

< 主なデータ記録項目 >

